

2. 重点目標 ～現状・課題・5年後目指す姿～

【基本方針】 1. 生涯学習の推進

1-1 生涯学習環境の充実

現 状

- ・これまで村民の生涯学習を支援するため、環境の整備、学習機会の提供を行ってきた。生涯学習アンケートを実施したところ、文化活動及びスポーツ活動いずれかの実施について半々の結果となり、前回アンケート(H29)を実施した時よりも活動を行ったと答えた人が増えた結果となった。ただし、半数の活動出来なかった人の多くは、30代～50代の働き盛りで時間がなかったり、時間があってもゆっくりとしたい、生涯学習の必要性を感じられないという回答率が高い結果となり、生涯学習の優先順位が低いままである。

課 題

- ・人生100年時代に向けた取り組みや、新型コロナウイルス感染症等（以下、「感染症」という。）の流行で新しい生活様式となった現在、生涯学習の重要性はますます高まっています。今後各地域、各世代に「学び」の関心や興味を広げるための多種多様な学習テーマや講演を提供することで生涯学習の重要性を理解してもらう。

5年後目指す姿

- ・村内の生涯学習環境が充実し、団体、サークル活動が活発に行われている。

重点施策	①多種多様な学習機会の充実
説 明	<ul style="list-style-type: none">・時代の変化や、村民のニーズをとらえ、多種多様なテーマや内容の講座を提供することで、関心や興味を高めます。・村の特色や特徴を生かした内容の学習の場を設けることで、より村へ興味を持ってもらえるような機会を提供する。
具体的取組	<ul style="list-style-type: none">○ 公民館(成人)講座○ 家庭教育学級○ 高齢者教室○ ようこそ奥様教室○ リフレッシュセミナー○ ふるさと歴史散歩○ 地層ツアー○ 巡回配本○ ねんちょうさんのおはなし会
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none">・興味から、趣味に、趣味から生きがいに繋がる場の提供をすることにより、講師活動を出来る人材発掘をする。・結果として、地域課題解決へ繋がるような講座を開設する。

重点施策	②学習成果の活用
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・子供から大人まで、各世代が集まり、日頃の活動成果、学習成果の発表の場の充実を図る。 ・村民が自ら興味を持ち学んだ成果を、日頃から活用できる場として団体、サークル等を組織化することで、教養をますます深めるための補助をする。
具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">○ 村民文化祭 <li style="width: 50%;">○ 学校図書館支援 <li style="width: 50%;">○ 地区公民館祭 <li style="width: 50%;">○ サークル活動支援 <li style="width: 50%;">○ 生涯学習支援事業補助金
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・村民が誰でも参加できる場、各団体、個人の取り組みをお知らせ出来る場として、広く周知し、賑わうように努める。 ・団体、サークル等、組織化の推進に努める。

重点施策	③世代間交流の推進
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育施設の持つ「人と人をつなぐしかけ」を活用し、各種イベントや講座を通じて世代間交流を促進し、賑わいのある地域コミュニティ形成を図る。
具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">○ 軽スポーツ・レクリエーション大会 <li style="width: 50%;">○ 民俗芸能発表会 <li style="width: 50%;">○ 花いっぱい運動 <li style="width: 50%;">○ 門松、くじら餅づくり <li style="width: 50%;">○ 南部せんべい手焼き体験 <li style="width: 50%;">○ 餅つき会
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・各種事業を通して、世代間交流の機会を充実させる。

重点施策	④各種団体等との連携強化
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育関係団体との連携強化、支援をすることで活性化を図り、地域コミュニティの振興、活性化につなげる。
具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">○ 社会教育委員 <li style="width: 50%;">○ 公民館運営協議会 <li style="width: 50%;">○ スポーツ推進委員 <li style="width: 50%;">○ 図書館協議会 <li style="width: 50%;">○ 千歳平地区公民館運営委員会 <li style="width: 50%;">○ 泊ふれあいセンター運営委員会 <li style="width: 50%;">○ 民俗芸能団体 <li style="width: 50%;">○ 文化協会 <li style="width: 50%;">○ スポーツ協会 <li style="width: 50%;">○ スポーツ少年団 <li style="width: 50%;">○ 発明クラブ <li style="width: 50%;">○ 県民駅伝競走大会実行委員会 <li style="width: 50%;">○ 女性団体連絡協議会 <li style="width: 50%;">○ 村民図書館読み聞かせ団体
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体の活動を周知するため、若い世代にも興味を持ってもらえるような広報活動をするなどの支援に努める。

重点施策	⑤地域課題解決に向けた地域活動への住民参加促進
説明	・地域間交流が希薄化にならないように地域の実情に合わせ、各地区の住民交流や村民のコミュニティが形成されるような場をつくる。
具体的取組	○ 分館活動支援 ○ 管内合同敬老会支援 ○ 村内施設への図書支援
今後の方向性	・公民館が連携し、地区間の交流の場を設けていく。

1-2 学校・家庭・地域の連携による社会全体の教育力の向上

現 状

- ・学校との連携が盛んな地域、出来ていない地域と様々な実情があり、地区ごとに取り組みも様々である。
- ・地域学校協働活動の基盤構築が出来ていない。

課 題

- ・学校との連携を進めるためにコーディネーターの養成が必要である。
- ・家庭教育支援に係る学びの場の充実が必要であるため、他課と連携し内容の充実を図る必要がある。

5年後目指す姿

- ・地域コーディネーターの育成ができており、学校、家庭、地域の連携、協働による“地域全体で子どもたちを育てる”環境の整備が進められている。

重点施策	①家庭教育支援の充実												
説 明	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期から青年期まで多様な学習の場を設け、各成長に合わせた多様な学習機会の場を充実させる。 ・家庭教育支援団体等の活動の支援を行い活発に展開していくことで、地域コーディネーターへの人材発掘へと繋げる。 												
具体的取組	<table border="0"> <tr> <td>○ 家庭教育学級</td> <td>○ 地域連携学習会</td> </tr> <tr> <td>○ 乳幼児学級</td> <td>○ ブックスタート（7ヶ月児）</td> </tr> <tr> <td>○ ぬいぐるみおとまり会</td> <td>○ 読書週間</td> </tr> <tr> <td>○ おはなし会</td> <td>○ ブックレース</td> </tr> <tr> <td>○ どくしょノート</td> <td>○ 木育ワークショップ</td> </tr> <tr> <td>○ 昔遊び体験</td> <td></td> </tr> </table>	○ 家庭教育学級	○ 地域連携学習会	○ 乳幼児学級	○ ブックスタート（7ヶ月児）	○ ぬいぐるみおとまり会	○ 読書週間	○ おはなし会	○ ブックレース	○ どくしょノート	○ 木育ワークショップ	○ 昔遊び体験	
○ 家庭教育学級	○ 地域連携学習会												
○ 乳幼児学級	○ ブックスタート（7ヶ月児）												
○ ぬいぐるみおとまり会	○ 読書週間												
○ おはなし会	○ ブックレース												
○ どくしょノート	○ 木育ワークショップ												
○ 昔遊び体験													
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・他課と連携し、各成長段階に合わせたプログラムの作成や、学ぶ機会の充実を図る。 												

重点施策	②青少年の体験活動の充実						
説 明	<ul style="list-style-type: none"> ・将来を担う世代に必要な知識や世界観を広げ、健全な心と身体を育む生涯学習の場を提供する。 ・集団生活や団体行動を通じ、共助の心を育む体験活動等の事業を行いリーダーの育成をする。 						
具体的取組	<table border="0"> <tr> <td>○ ジュニアリーダー研修会</td> <td>○ 少年少女発明クラブ</td> </tr> <tr> <td>○ 成人式</td> <td>○ 図書館職場体験学習</td> </tr> <tr> <td>○ 子ども読書感想文コンクール事業</td> <td></td> </tr> </table>	○ ジュニアリーダー研修会	○ 少年少女発明クラブ	○ 成人式	○ 図書館職場体験学習	○ 子ども読書感想文コンクール事業	
○ ジュニアリーダー研修会	○ 少年少女発明クラブ						
○ 成人式	○ 図書館職場体験学習						
○ 子ども読書感想文コンクール事業							
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力あるプログラムを提供し、体験活動を充実させていく。 						

1-3 社会教育施設の機能の充実

現 状

- ・社会教育施設の老朽化及び設備の不備により住民のニーズにこたえられていない部分がある。
- ・施設の利用に繋がるような事業やターゲットを明確にした事業を展開する必要がある。

課 題

- ・老朽化に伴い、必要部分から改修をすすめる必要があるため修繕計画を立てる必要がある。
- ・実施事業、イベント等の情報提供や施設の充実を図ることで、住民のニーズに合わせた施設運営をする。

5年後目指す姿

- ・住民が利用しやすく、利用率が高い社会教育施設とする。
- ・六ヶ所村公共施設等総合管理計画（六ヶ所村個別施設計画）に基づいた各社会教育施設の維持管理が行われている。

重点施策	①住民のニーズに合わせた施設の運営						
説明	・魅力ある施設にするため、質の高いイベントや事業を開催し、また継続していく事で施設の利用率向上に繋げる。						
具体的取組	<table><tr><td>○ 社会教育施設指定管理業務</td><td>○ 施設修繕、改修事業</td></tr><tr><td>○ 備品購入、管理</td><td>○ 施設貸館業務</td></tr><tr><td>○ 資料管理</td><td></td></tr></table>	○ 社会教育施設指定管理業務	○ 施設修繕、改修事業	○ 備品購入、管理	○ 施設貸館業務	○ 資料管理	
○ 社会教育施設指定管理業務	○ 施設修繕、改修事業						
○ 備品購入、管理	○ 施設貸館業務						
○ 資料管理							
今後の方向性	・利用者の安全面と利便性を考慮し改修を進めていく						

【基本方針】 2. 生涯スポーツ環境の拡充

2-1 スポーツの村の推進

現 状

- ・実施したアンケート結果から、健康の為に普段から簡単に取り組めるようなジョギング、ヨガ、ピラティス、体力づくりなどを学んだり、これから学びたいと感じている人が多い。
- ・一般村民、親子等が気軽にスポーツ（運動）をする機会が少なく、ニーズの把握も十分でないため、スポーツ未経験者、運動が苦手な層が親しむ機会の提供が出来ていない。

課 題

- ・今後、スポーツの多様性（ニーズ）に応えるように、また子供から高齢者まで村民だれもが生涯に渡って楽しむことができる環境を整えていく必要がある。
- ・体験しやすいニュースポーツ等の情報提供や機会の提供をすることが必要。

5年後目指す姿

- ・村民が体力作り等気軽に運動を楽しみ、それが習慣化することで健康へと繋がり、村民の健康寿命が延びている。
- ・スポーツ人口が拡大し、世代間交流の場としても活発にスポーツが行われている。

重点施策	①スポーツをする機会の充実
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・各世代に向けたスポーツ（運動）をする機会の充実を図る。 ・日頃運動不足など感じている村民にスポーツをする機会を提供する。
具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 軽スポーツレクリエーション大会 ○ エネルギーパークマラソン大会 ○ スポーツ少年団各種大会 ○ 歩け歩け運動
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・親子や高齢者を対象としたスポーツ教室等の機会を増やす。 ・村で実施可能なニュースポーツや、活動中のスポーツ団体について広く周知を行い、興味関心を持ってもらう。

重点施策	②各種団体・個人支援
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ団体、及び個人の活動に対して支援を行うことで活動の活性化を図る。 ・優秀な成績を収めた村民に対し褒章することで、モチベーションを高めるきっかけとする。
具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツ賞授与式 ○ 社会体育関係補助金
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・村のスポーツ人口拡大のためにも、今後も継続していく。

2-2 社会体育施設の機能の充実

現 状

- ・社会体育施設の老朽化及び設備の不備により住民のニーズにこたえられていない部分がある。

課 題

- ・六ヶ所村公共施設等総合管理計画（六ヶ所村個別施設計画）や大石総合運動公園長寿命化計画に基づき施設の維持管理・更新等優先順位を持って行う必要がある。

5年後目指す姿

- ・村内外の施設利用者が、安全に利用できる社会体育施設となっている。

重点施策	①住民のニーズに合わせた施設の運営				
説明	・スポーツ団体と健康づくりを目的とした一般住民が、施設を気軽に利用できる施設運営を目指す。				
具体的取組	<table><tr><td>○ 社会体育施設指定管理業務</td><td>○ 施設修繕、改修事業</td></tr><tr><td>○ 備品購入、管理</td><td>○ 施設貸館業務</td></tr></table>	○ 社会体育施設指定管理業務	○ 施設修繕、改修事業	○ 備品購入、管理	○ 施設貸館業務
○ 社会体育施設指定管理業務	○ 施設修繕、改修事業				
○ 備品購入、管理	○ 施設貸館業務				
今後の方向性	・住民が利用しやすい施設となるよう、施設の修繕等は引き続き対応していく。				

【基本方針】 3. 地域文化の創造と継承

3-1 文化創造活動の推進

現 状

- ・感染症の流行により、人が集まる事へのリスク、不安感が生まれたため、受講を躊躇する人が増えた。
- ・アンケート結果では、情報収集の手段としてインターネットを利用した方法が一番高い結果となった。現状、広報誌、チラシ、ポスター等の配布・掲示、一部村のホームページを利用した手段が主となっているため、必要な情報が行きわたっておらず情報発信不足がみられる。

課 題

- ・必要課題を把握し、趣味や教養以外にも多様な講座の開設を目指す必要がある。
- ・安心安全に事業に参加してもらえるように対策を講じたうえ、人数にこだわらず受講生がやりがいを感じ満足する内容にする。
- ・開催方法として、対面のみならず、リモート形式等も視野にいれ、活用できるものは取り入れていく。
- ・情報発信の手段として、村のホームページ以外のSNS等も含め村民が利用しやすいツールを使用する事で、情報を入手しやすくする必要がある。

5年後目指す姿

- ・村民文化の創造に向け、村民の文化・芸術に参加する機会の充実を通し文化活動の促進と支援の取り組みがなされている。

重点施策	①文化活動の拡充
説 明	<ul style="list-style-type: none"> ・実施している事業の周知を様々な方法で広く行い、平等に情報が行きわたるようにする。 ・村内の各団体（サークル等）の活動も周知することで、村民の活動の幅、選択肢を広げる。 ・村民の学習意欲を高め、主体的に学ぶ事、またその学びを生かすことができる仕掛けをし、自立へ向けたサポートをする。
具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯学習イベント ○ 図書館フェスティバル ○ 広報誌刊行等の広報活動 ○ 郷土館体験学習事業
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・村民が流行や情報をキャッチできる場を設ける。 ・情報発信の方法として、SNS等を駆使し広く発信する。

重点施策	②郷土理解と自己啓発の促進
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・古くからあるもの、郷土の歴史や文化に関する知識や技能を学ぶことで、自己をより高く充実した生き方を目指すものである。 ・郷土へ愛着を持ってもらうため、親子での体験や、子供のころから体験できるようなプログラムの作成をして、活用してもらう。
具体的取組	○ 郷土塾 ○ 郷土館体験学習事業
今後の方向性	・親子向けや、子供だけでの参加など開催内容を工夫することで参加しやすい事業を開催する。

重点施策	③文化団体活動の支援
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・六ヶ所村における文化の発展に寄与した団体や個人に対し、この功績を顕彰する。 ・村内の文化活動に取り組んでいる団体への支援
具体的取組	○ 文化賞授与式 ○ 生涯学習支援事業補助金
今後の方向性	・村内で活動している個人、団体の活動内容を広くPRすることで、団員の増加等を目指す。

3-2 郷土文化の継承

説 明

- ・郷土に伝わる民俗芸能団体の活動支援に取り組んでいるが、メンバーの後継者不足や、団体を存続していくことで精一杯で、維持もままならない団体もある。
- ・感染症の流行により、従来の活動も出来なくなった地域行事や団体等が、活動不足から維持ができない事が懸念される。

課 題

- ・活動支援は引き続き行い、活動の活発化、継続を図る必要がある。
- ・学校や子どもを巻き込んで活動等行うことで、後継者育成に繋げていく必要がある。

5年後目指す姿

- ・各地区に継承されている民俗芸能や郷土文化の継承を通じて、村民相互の連帯感や郷土意識が醸成されている。

重点施策	①各芸能団体等の支援
説 明	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土文化の保存・継承に取り組む民俗芸能団体の活動を支援することで、村民の郷土に対する理解と愛着を深め、住民相互の連帯感を醸成する。 ・各地区に伝わる伝統行事に協力し、参加する事で地域住民間、世代間の交流を促進する場となり地域コミュニティの活性化となる。
具体的取組	○ 民俗芸能団体活動補助金 ○ 各地区開催、祭事の協力
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体の発表の場の提供等の支援を継続していく。 ・各地区で行われている郷土文化の支援も可能な限り行う。

重点施策	②各芸能団体等の人材育成
説 明	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の各団体の担い手となる子供たちの育成を行う。
具体的取組	○ 民俗芸能団体活動補助金
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・現在活動している子供神楽団体の活動支援を継続していく。 ・各地区の後継者育成のきっかけづくりとして、学校との連携を図っていく。

重点施策	③各芸能団体等の保存
説 明	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体の保存のため演者、奏者などそれぞれの動きが分かるような映像や音源、譜面等の記録をする。 ・村の郷土文化や、風習等について把握する。
具体的取組	○ 記録映像等の作成
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・作成した記録映像は、図書館、郷土館等で村民が視聴できるようにする。また、学校等にも貸し出せるようにする。

3-3 文化財保護と活用

現 状

- ・村の文化財については、周知や活用が出来ていない為か知らない村民も多いため周知等する必要がある。
- ・それぞれの所有者、団体が文化財の保護を行っているが、時間の経過とともに劣化や破損等の損傷を負うものが出てきている。適宜対応していく必要がある。

課 題

- ・文化財の活用方法を検討し、それを村民が利用できるようにする必要がある。

5年後目指す姿

- ・文化財の保存と活用が効果的に行われるよう、六ヶ所村立郷土館と連携ができています。
- ・村の無形、有形文化財について広く村民が理解している。

重点施策	①文化財の保存
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・村立郷土館において保存されている民俗、考古品等の保護・展示を引き続き行う。 ・指定文化財の破損等は適宜対応し、維持していく事が必要。
具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 村指定文化財の管理、補修 ○ 企画展開催事業
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・保存されている文化財など様々なテーマで企画展示する。 ・埋もれている郷土史料の新たな発掘を図っていく。 ・埋蔵文化財保護のため、パトロールの実施並びに試掘調査を実施する。

重点施策	②文化財の活用
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財を活用したプログラムや事業を展開することで、村民に文化財への理解、郷土の歴史を知ってもらう事が必要。
具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 郷土館出前講座 ○ 出張ミュージアム ○ 施設見学の受け入れ
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と連携した出前講座を実施したり家庭教育プログラムに組み込むなど、子どもたちや村民が村の文化財について知る機会や情報発信の場を増やしていく。